



GIFT

株式会社ギフトHD 証券コード9279

2022年10月期 第3四半期 決算説明資料



IRサイト

<https://www.gift-group.co.jp/ir/>

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1 | 2022年10月期 第3四半期 業績ハイライト
- 2 | 2022年10月期 通期業績見通し（数値変更なし）
- 3 | 参考資料 会社概要



1 | 2022年10月期 第3四半期 業績ハイライト

売上高

営業利益

経常利益

12,220 百万円

前年同期比： + 25.2%

1,122 百万円

前年同期比： + 70.0%

1,805 百万円

前年同期比： + 43.2%

第3四半期業績概要

第7波の到来による人流の減少、労働力不足にも関わらず、通常営業を継続できたことにより**過去最高の四半期売上**を計上し、堅調な業績を確保。

東京ラーメン横丁OP

東京駅八重洲地下街に7ブランドのラーメン店を一挙に出店

物流センターの拡大

関東に続き、6月に中京・関西に物流センターを開設

7/1 価格改定の実施

原材料価格の高騰に対して柔軟に価格改定を実施

新ブランド「いと井」

新ブランドの味噌ラーメン業態「いと井」を開発・出店

成長性・収益性

売上高成長率

25.2%

(年間目標：26.2%)

売上高昨年対比

国内直営 全店

133.5%

営業利益率

9.2%

経常利益率

14.8%

(年間目標：11.8%)

国内直営 既存店

109.6%

(年間目標：114.4%)

出店数

直営店 店舗

19 店舗

(年間目標：36店舗)

人時生産性 (直営店)

人時売上高

5,913円

(前年同期：5,744円)

人材確保・定着

社員採用

中途入社 100名

新卒入社 51名

プロデュース店 店舗

28 店舗

(年間目標：純増48店舗)

人件費率

26.3%

(前年同期：26.3%)

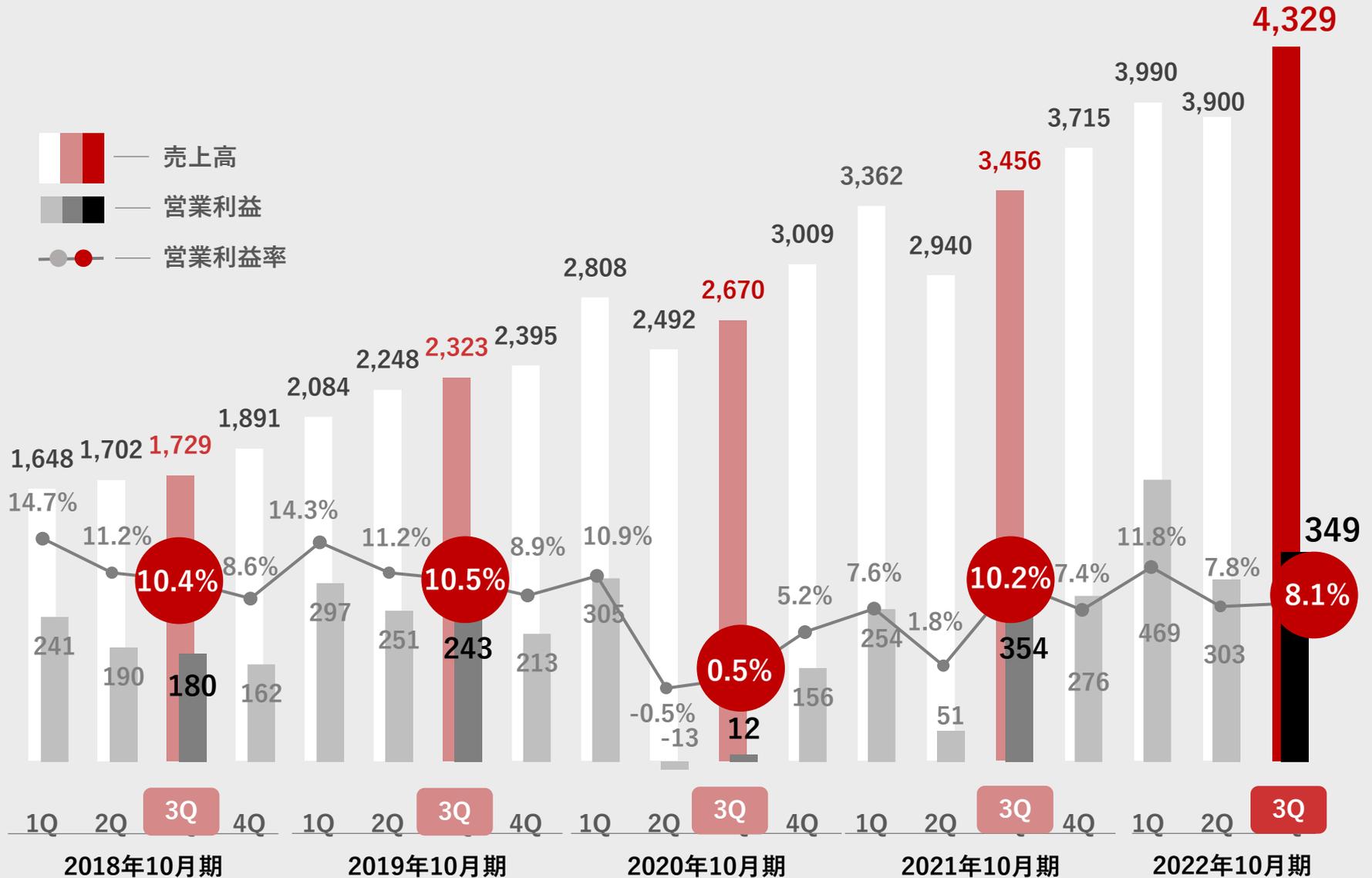
退職率

17.5%

(前年同期：14.8%)

	2021/10期 3Q		2022/10期 3Q		増減	期初計画比	
	金額	売上比率	金額	売上比率	前年同期比	22/10期 通期計画	進捗率
売上高	9,759	-	12,220	-	+25.2%	17,000	71.9%
売上原価	2,696	27.6%	3,673	30.1%	+36.2%	-	-
売上総利益	7,063	72.4%	8,546	69.9%	+21.0%	-	-
販管費	6,403	65.6%	7,424	60.8%	+15.9%	-	-
営業利益	660	6.8%	1,122	9.2%	+70.0%	1,700	66.0%
経常利益	1,260	12.9%	1,805	14.8%	+43.2%	2,000	90.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	862	8.8%	1,234	10.1%	+43.1%	1,280	96.5%

売上高及び営業利益 四半期推移 (会計期間)



時短協力金、雇用調整助成金について



当社グループは、自治体からの飲食店等の営業時間短縮要請に応じるとともに、営業時間短縮要請に係る時短協力金および雇用調整助成金の支給申請を行っており、**支給決定の時点で収益を認識**しております。

当第3四半期連結累計期間に支給が決定した時短協力金および雇用調整助成金は営業外収益に補助金収入として計上しております。

(参考) 時短協力金および雇用調整助成金の申請及び支給状況

		7/31 まで 支給済	8/1以降			合計	総計
			支給決定済	支給未決定	申請予定		
時短協力金	時短日数 (日)	6,419	546	1,230	—	1,776	8,195
	金額 (千円)	606,410	48,699	注2	—	注2	注2
雇用調整助成金	金額 (千円)	20,206	29	注2	注2	注2	注2

(注1) 上記の時短日数は、当第3四半期連結会計期間末までに時短した日数です(前期末日までに支給が決定した時短協力金にかかる時短日数は除く)。

(注2) 時短協力金および雇用調整助成金の金額は支給決定時に確定し支給決定の時点で収益を認識する予定です。

(単位：百万円)				(単位：百万円)			
	2021年 10月期	2022年 10月期 3Q	増減額		2021年 10月期	2022年 10月期 3Q	増減額
流動資産	2,413	2,675	+ 261	流動負債	2,539	2,616	+ 76
現金・預金	1,871	1,870	△0	買掛金	389	489	+ 99
売掛金	262	362	+ 100	短期借入金	-	44	+ 44
その他	280	442	+ 162	一年内長期借入金	534	549	+ 14
				その他	1,615	1,533	△82
固定資産	5,863	6,779	+ 915	固定負債	1,621	1,712	+ 90
有形固定資産	4,016	4,790	+ 774	長期借入金	1,274	1,329	+ 55
無形固定資産	135	122	△12	その他	346	382	+ 35
投資その他資産	1,711	1,865	+ 154	負債合計	4,161	4,328	+167
				純資産合計	4,116	5,126	+1,010
資産合計	8,277	9,454	+ 1,177	資本金	790	793	+ 2
				資本剰余金	1,042	1,045	+ 2
				利益剰余金	2,281	3,185	+ 904
				自己株式	△0	△0	△0
				その他包括利益累計	2	102	+99
				負債純資産合計	8,277	9,454	+ 1,177

出店状況



出店を継続し、

+80店舗の年間計画に対して、

+46店舗の純増を実現。



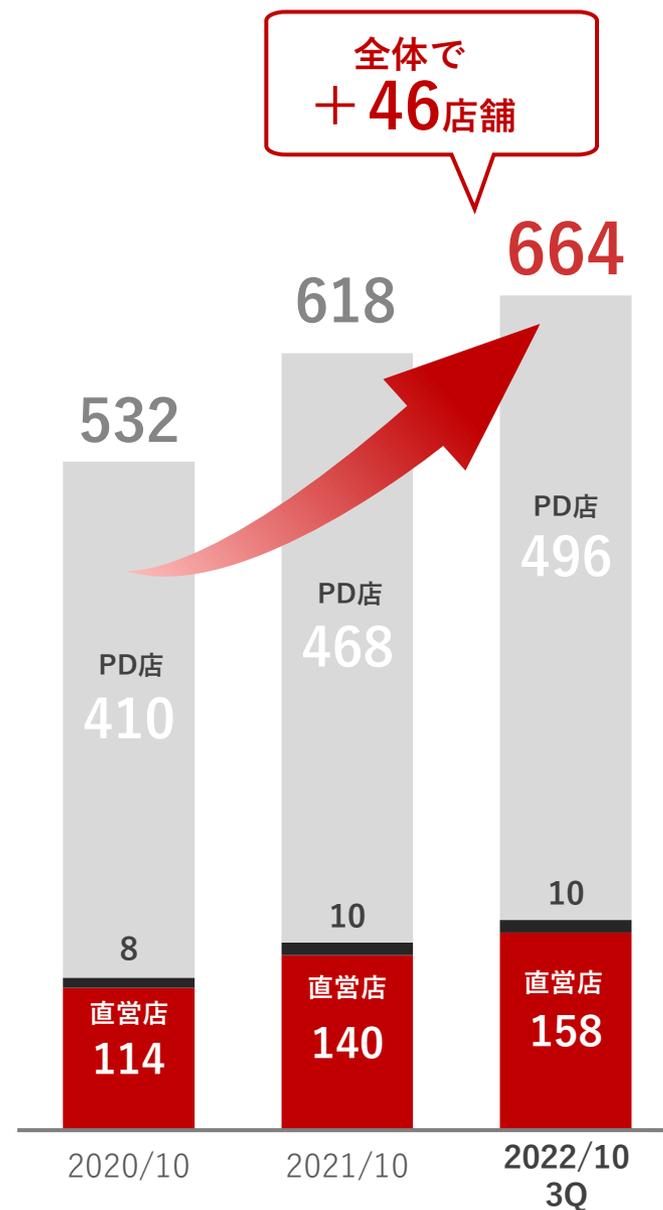
2021/10期

2022/10期 3Q

プロデュース店 468店舗 >>> 496店舗

直営店
(業務委託店含む) 150店舗 >>> 168店舗

全店舗
合計 618店舗 >>> 664店舗



店舗の状況（直営店/ブランド別増減内訳）



ブランド					
店舗数	115	20	5	1	6
増減 (前期末比)	+7	+4	+3	-	-
ブランド					その他
店舗数	3	3	1	2	2
増減 (前期末比)	+2	+1	+1	△1	+1

「東京ラーメン横丁」 オープン



JR東京駅徒歩1分 八重洲地下街に「7ブランド」が集結

各ブランドの個性を活かしながら、横丁としての懐かしさ・エンターテインメント性を兼ね備えた活気と賑わいの“たまり場”を創造。国内外からの様々なお客様をつなぎ、“懐かしさ”と“ワクワク感”、そして他にはない特別な“空間”を感じて頂けます。

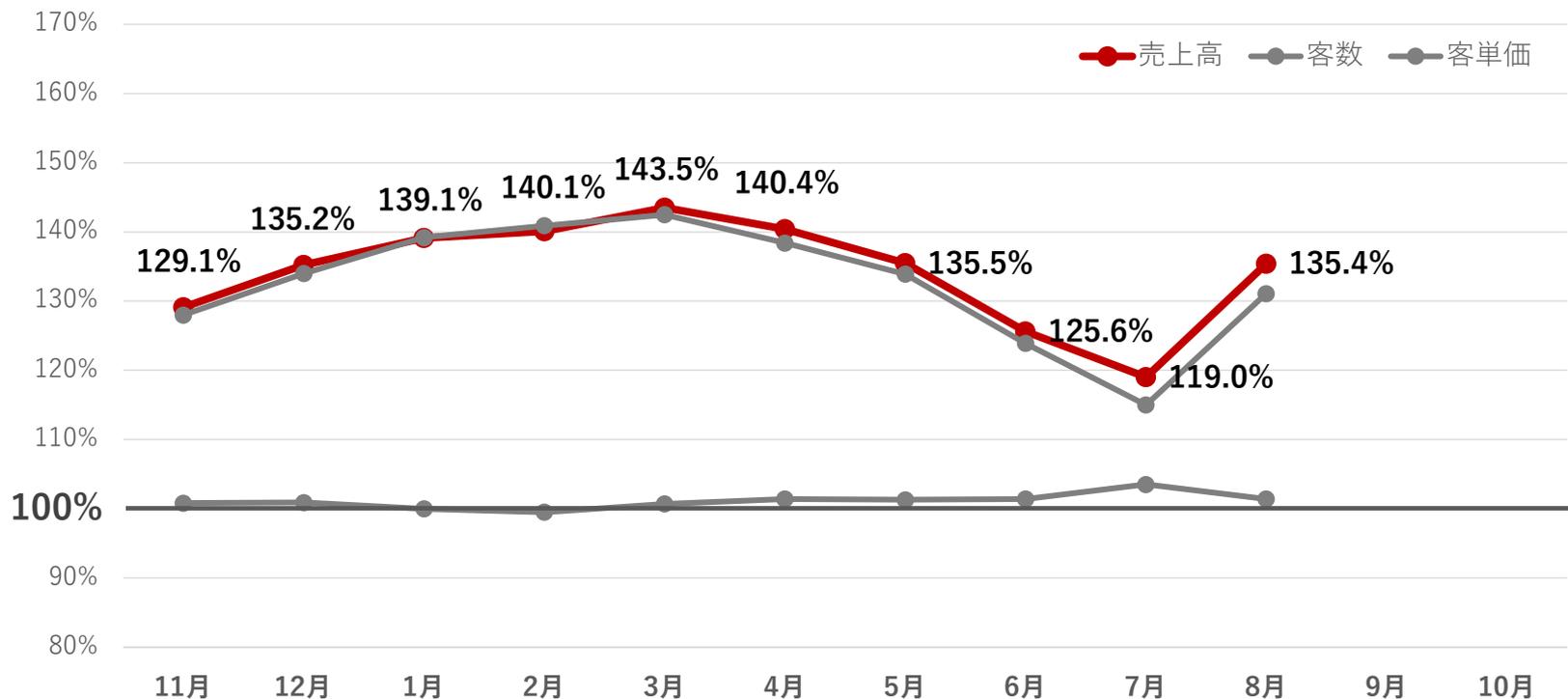


店舗の状況（地域別増減内訳）



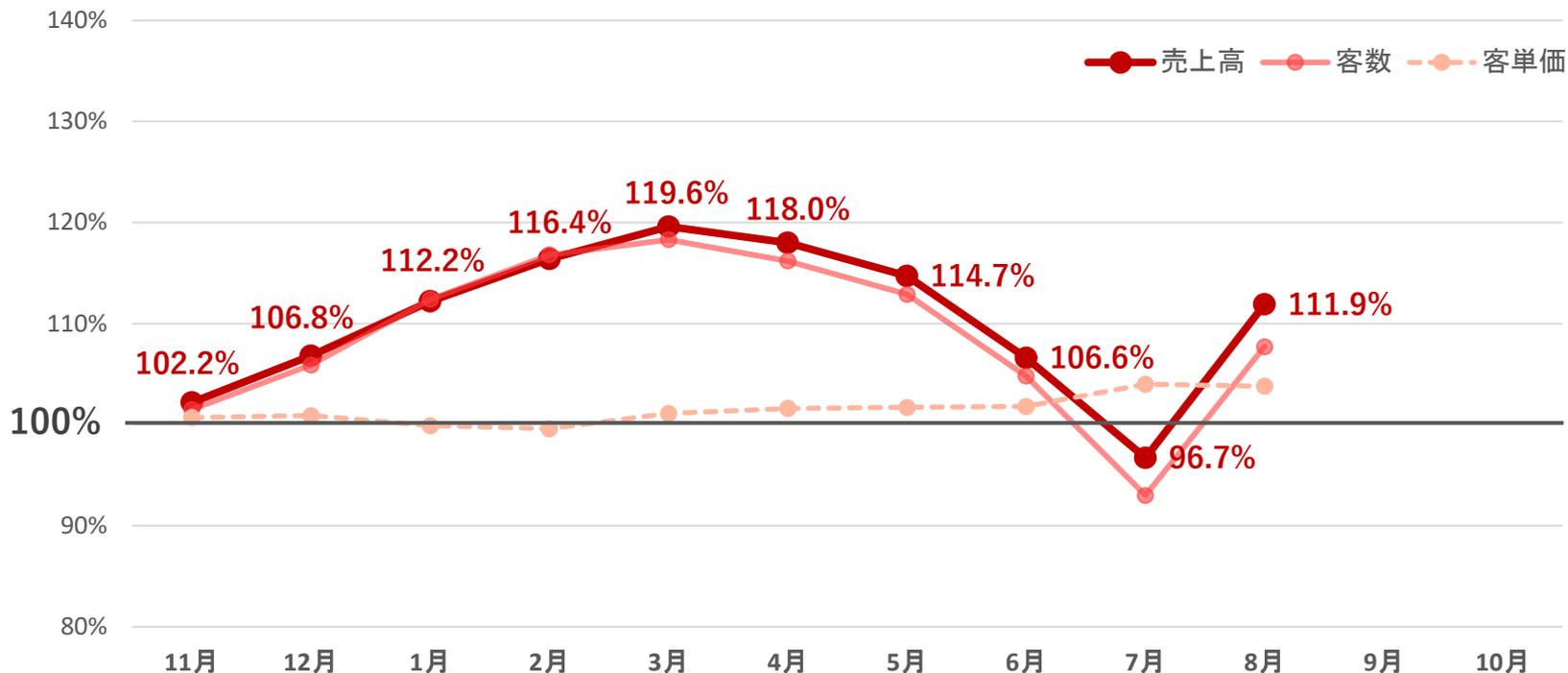
(単位：店)		21/10期末	22/10期 3Q	増減	
		店舗数	店舗数		
直営店事業	関東	87	102	+15	
	東日本（関東以外）	32	36	+4	
	西日本	18	18	-	
	海外	3	2	△1	
	小計	140	158	+18	
	業務委託店	10	10	-	
売上高	10,132 百万円	合計	150	168	+18
プロデュース事業	関東	293	302	+9	
	東日本（関東以外）	95	105	+10	
	西日本	67	75	+8	
	海外	13	14	+1	
	合計	468	496	+28	
売上高	2,088 百万円	合計	618	664	+46
店舗数総合計		618	664	+46	

国内 直营全店 对前年同月比売上高推移



全店	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
売上高	129.1%	135.2%	139.1%	140.1%	143.5%	140.4%	135.5%	125.6%	119.0%	135.4%			133.7%
客数	128.0%	134.0%	139.2%	140.9%	142.5%	138.4%	133.9%	123.9%	115.0%	131.1%			131.9%
客単価	100.8%	100.9%	100.0%	99.5%	100.7%	101.4%	101.3%	101.4%	103.5%	103.3%			101.4%

国内 直営既存店 対前年同月比売上高推移



既存店	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
売上高	102.2%	106.8%	112.2%	116.4%	119.6%	118.0%	114.7%	106.6%	96.7%	111.9%			109.9%
客数	101.5%	105.9%	112.4%	116.8%	118.3%	116.2%	112.9%	104.8%	93.0%	107.7%			108.1%
客単価	100.7%	100.9%	99.9%	99.6%	101.1%	101.6%	101.7%	101.8%	104.0%	103.8%			101.6%

2 | 2022年10月期 通期業績見通し（数値変更なし）

2022年10月期 通期業績見通し（変更なし）



中期経営計画を着実に進め、大幅な増収・増益を計画

	2021年10月期 実績		2022年10月期 予想		増減率
	金額	売上比率	金額	売上比率	
(単位：百万円)					
売上高	13,474	—	17,000	—	+26.2%
営業利益	936	6.9%	1,700	10.0%	+81.6%
経常利益	1,748	13.0%	2,000	11.8%	+14.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,076	8.0%	1,280	7.5%	+18.9%

国内直営店事業部門／既存店売上

2021年10月期比 **114.4%**

2019年10月期比 101.0%

出店計画

国内直営店

35店

純増+31店

海外直営店

1店

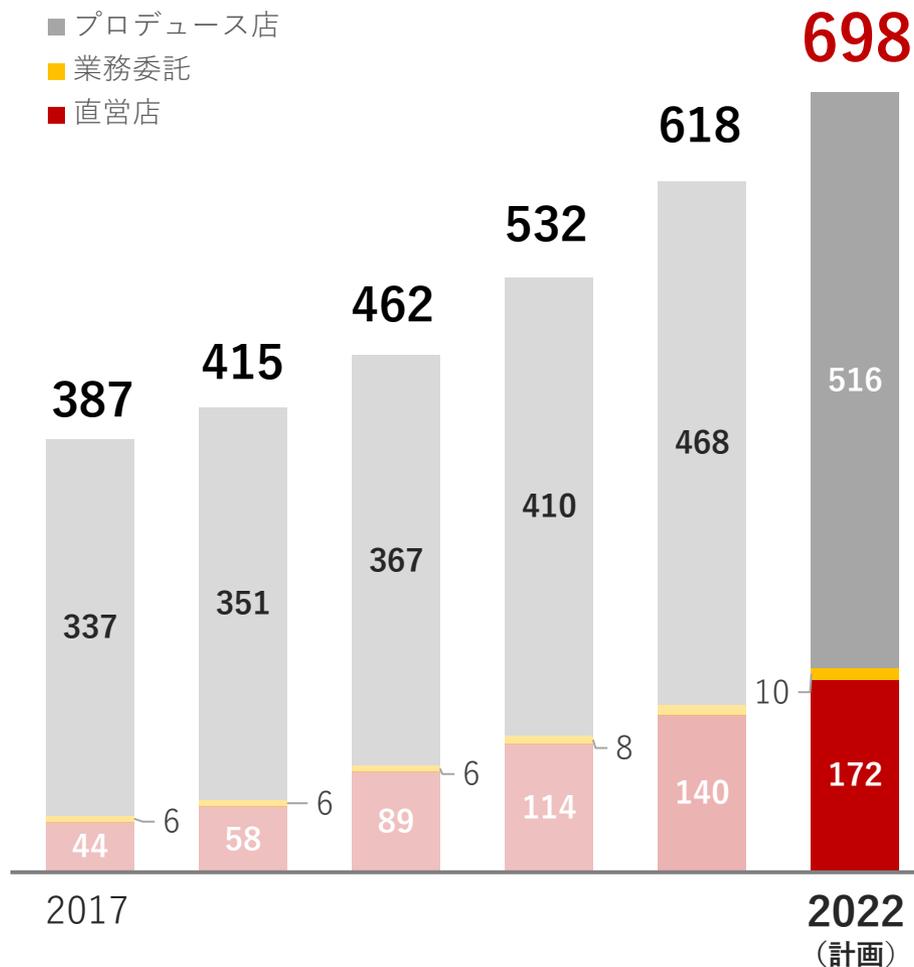
プロデュース店

48店

国内45店 海外3店

店舗数

- プロデュース店
- 業務委託
- 直営店



2022.10月期末
店舗数（計画）

698 店舗

前期比 **+80** 店舗 を計画

直営店 **+32** 店舗

プロデュース店 **+48** 店舗

配当方針

株主の皆様への利益還元は、経営成績、財政状態及び財政状態を総合的に勘案し、財務体質の強化、事業拡大のための投資等にも十分に留意しながら、安定的且つ継続的な利益還元を基本スタンスとして配当性向にも注視しながら実施しております。

2021年10月期配当金

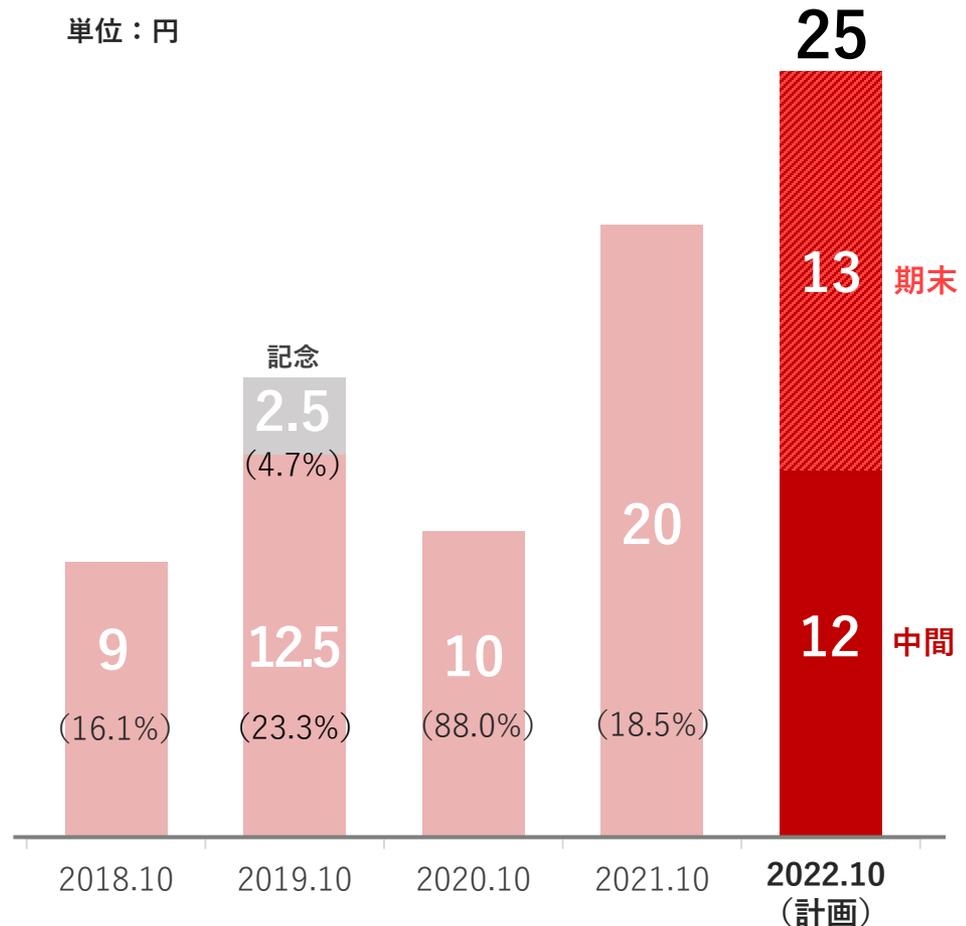
当初計画より5円増額の20円
といたしました。

2022年10月期配当金

- ・ 中間配当を開始
- ・ 配当性向20%以上を目標

中間12円/期末13円の計25円とし、
5円増配を計画しております。

※右の数値は、
株式分割を勘案した数値を掲載。



優待拡充（2023年1月贈呈分より）

- ・ 1年以上継続保有株主優遇制度を新設
- ・ ラーメン豚山オンラインショップにも対応

保有株式数	現行	変更後	
		1年未満保有の場合	1年以上継続保有の場合
100株以上 200株未満	2枚（年4枚）	2枚（年4枚）	3枚（年6枚）
200株以上 300株未満	3枚（年6枚）	3枚（年6枚）	4枚（年8枚）
300株以上 500株未満	4枚（年8枚）	4枚（年8枚）	5枚（年10枚）
500株以上	5枚（年10枚）	5枚（年10枚）	6枚（年12枚）

- **1年以上継続保有とは**基準日時点（毎年4月末、10月末）の株主名簿に記載されており、100株以上を1年以上継続保有されている場合をいいます。当社の株主名簿に、同一株主番号で当該基準日を含む直近3回の基準日（4月末、10月末）に継続して記載された株主様が対象です。
- お食事ご優待券は券売機の中からどれでも1品無料でご利用いただけます。券売機のない店舗ではメニューの中から1品となります。テイクアウトにもご利用いただけます*。ラーメン豚山では、ボタンをお選びいただいた後、汁なし、つけ麺への変更も可能です。
- 1,000円以上のセットメニューにもご利用いただけます。
- お食事ご優待券は、当社グループの国内直営店でご利用いただけます。ご利用可能な店舗につきましては別途ご案内いたします。ラーメン豚山オンラインショップでは、**電子チケット1枚で1000円OFFクーポン**の発行をいたします。**1回のご注文で1枚のクーポンのみ**ご利用いただけます。

※一部店舗の店頭で販売しております「家系ラーメンセット」などの持ち帰り用冷凍商品は対象外です。

IRサイト

IRサイトでは、株主・投資家の皆様へ向け積極的に情報を発信しております。



<https://www.gift-group.co.jp/ir/>

Investor Questions

Investor Questionsページでは、株主・投資家の皆様からよく頂く質問に対し、IR担当者より回答しております。



<https://www.gift-group.co.jp/ir/communication.html>

3 | 参考資料 会社概要



社名 株式会社ギフトホールディングス

事業内容 飲食店の経営

本社所在地 東京都町田市森野1-23-19
小田急町田森野ビル3階

自社工場 製麺工場：平塚、横浜第一、丹波篠山
チャーシュー工場：綾瀬
スープ工場：横浜第二

設立 2009年12月7日
(創業 2008年1月)

代表者 代表取締役社長 田川 翔

決算期 10月

資本金 793百万円 (2022年7月末現在)

グループ従業員 社員486名 パート・アルバイト 2,220名
(2021年10月末現在)

関係会社 連結子会社 9社

(重要な連結子会社の名称)

株式会社ギフト

株式会社ラーメン天華

株式会社ギフトフードマテリアル

GIFT USA INC.

主カ
ブランド



町田商店

何度食べても飽きないクリーミーなスープが特徴の“家系ラーメン”
活気のある超絶空間で全国に100店舗以上展開中の人気店。



豚山

肉厚でやわからいぶた肉とたっぷりの野菜が特徴の“ガッツリ系ラーメン”
力強いスープに甘味のある醤油ダレと“わしわし”麺で食べ応え満点！



がっとうん

長時間炊き込み熟成させたスープが特徴の“九州豚骨ラーメン”
濃厚で深みのあるスープとの相性を追求した特注極細麺は至高の味。



四天王

海外からのビジターにも大人気。
あっさりしたコクが特徴の“豚骨ラーメン”。



赤みそ家

味噌をベースに炒めた野菜の旨味たっぷりの“味噌ラーメン”。



長岡食堂

新潟県長岡市のご当地ラーメンとして親しまれている生姜醤油の“中華そば”
厳選した食材を使用した淡麗なスープは味わい深く、老若男女に人気。



元祖油堂

こだわりの専用麺と卓上調味料でカスタマイズする自分だけの“油そば”
オシャレな雰囲気の店内が女性にも人気で、味のアレンジは無限大！

新ブランド



いと井

豚骨、鶏ガラ、野菜の旨味がタップリ溶け込んだスープの濃厚“味噌ラーメン”
白味噌とニンニク、炒めたシャキシャキもやしは超絶品でライスとも相性抜群！

海外



E.A.K RAMEN

“家系ラーメン”をベースにローカルニーズに合わせた味をご提供。

直営店とプロデュース店
2つのチャンネル形態にて飲食事業を展開

直営店

168店舗

様々なジャンルの
直営店舗の運営



プロデュース店

496店舗

オーナー様の要望に合わせた
繁盛店づくりのサポート

直営店

運営ノウハウ
の提供

自社工場
委託工場

PB商品の供給

プロデュース店



※PB商品：
プライベートブランド商品
(麺、タレ、スープ、餃子、チャーシュー)

駅近+ロードサイドの両エリアで、繁盛店運営が可能

駅近エリア

「地域名+商店」
地域密着型店舗展開

秋津商店



三ノ宮商店



代々木商店



網島商店



荻窪商店



ロードサイドエリア

「町田商店」
一定品質のチェーン型展開

町田商店 姫路店



町田商店 仲町台店



町田商店 清水インター店



町田商店
京都東インター店

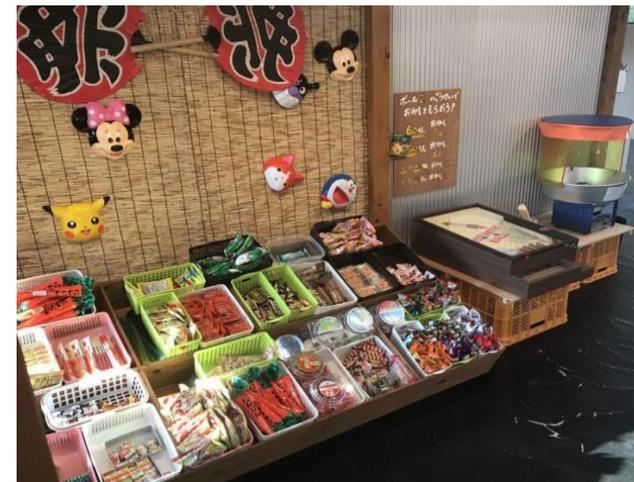


町田商店 富士宮店



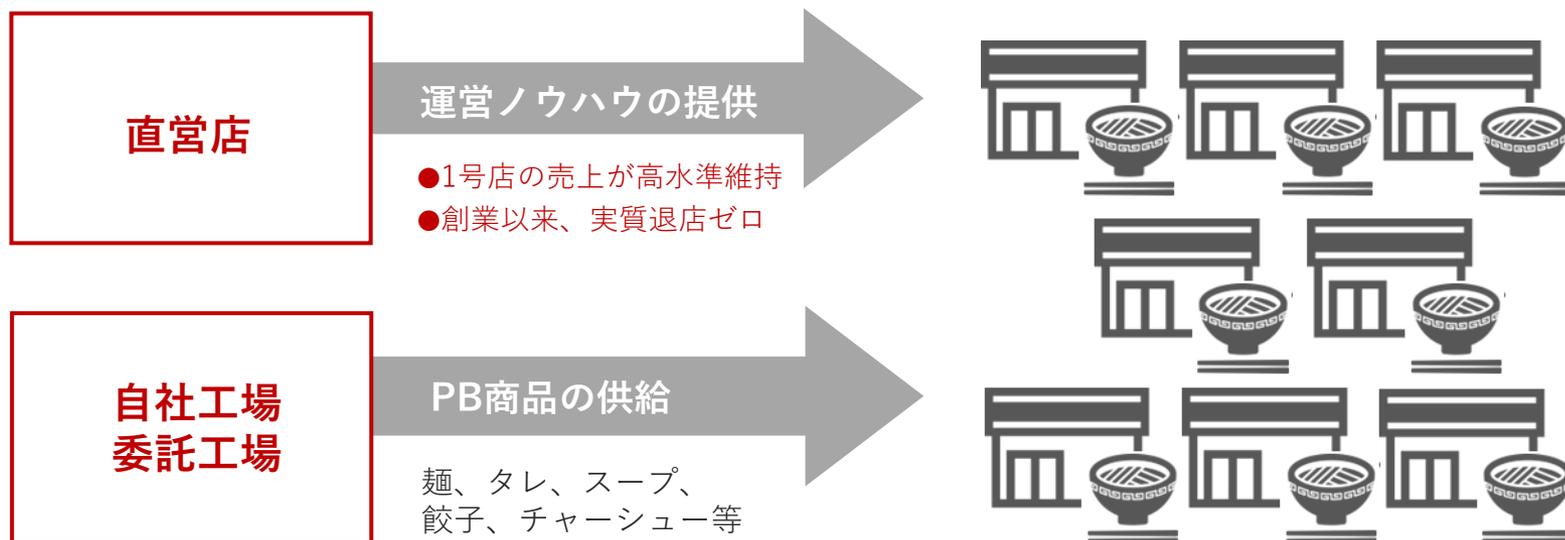
ファミリー層にも評判のロードサイド店舗

- 駐車場（20台～30台）
- 競合状況、商圈人口、交通量等の分析結果をもとに出店
- 家族が楽しめる店舗づくり
- ファミリー向けメニューの充実化
- 来客単価増加基調を維持
- ロードサイド店は駅近店を上回る繁盛店



＜当社独自のチャネル＞プロデュース店の運営スキーム

オーナー様の要望に合わせた繁盛店づくりのサポート



※フランチャイズ制度と異なり、保証金、加盟料、経営指導料（ロイヤリティ）不要。直営店の運営ノウハウをもとに、店舗立ち上げ時のプロデュースを、食材の購入を条件に原則無償で提供。

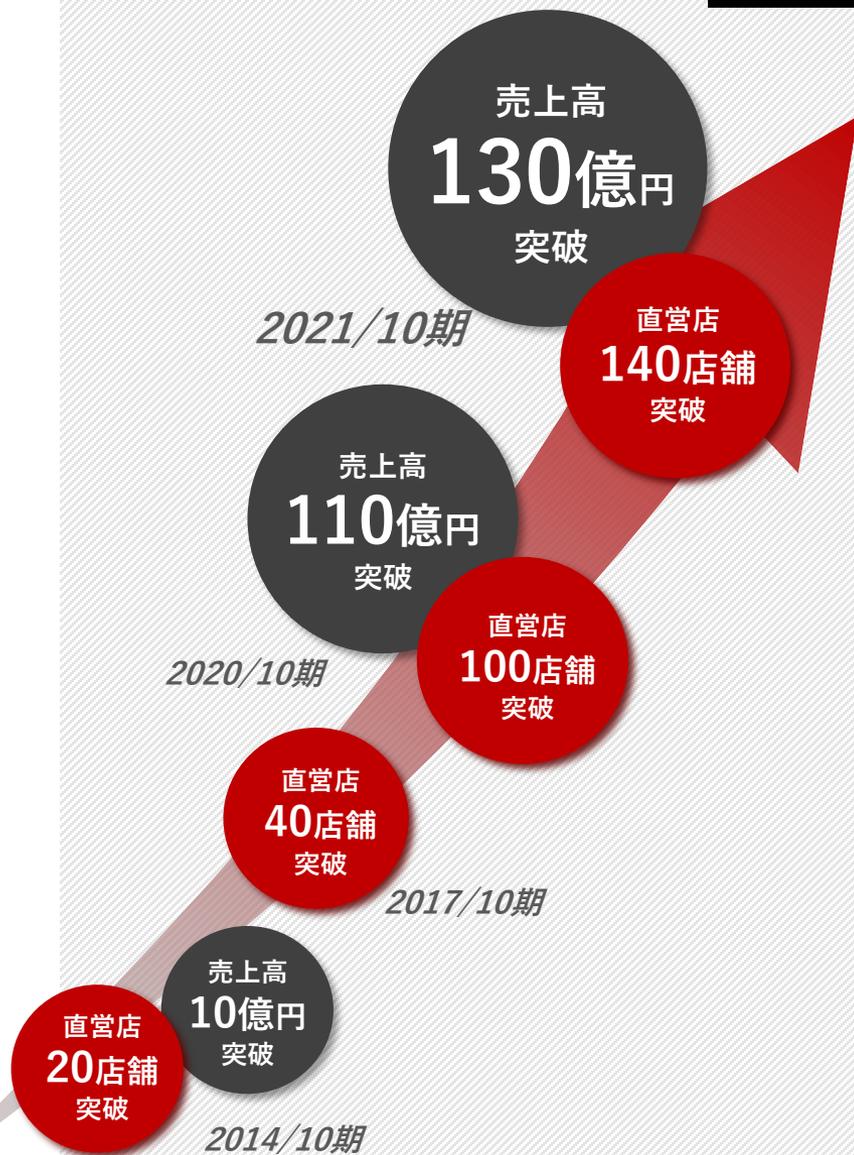
プロデュース店とフランチャイズ店の違い



	フランチャイズ店	プロデュース店
屋号	同一	フリー
加盟金	100万円～500万円	0円
ロイヤリティ	月売上の約5%	0円
店舗運営・メニュー開発の自由度	×	○
加盟店によりブランドが毀損した場合の全体波及リスク	大	小
各種サポート※	あり	あり

※各種サポート…物件開発、店舗設計、社員研修、オープンサポート

- 2008** 1月 町田商店本店を開業
- 2009** 12月 株式会社町田商店(現当社) 設立 直営店事業部門を開始
- 2010** 1月 ラーメン事業のプロデュース、PB商品販売、製麺等を目的に、株式会社ファイナル・スリー・フィート設立
プロデュース事業部門開始
- 8月 直営2号店の代々木商店を開店
- 2013** 11月 神奈川県平塚市に製麺工場を設立
- 2014** 3月 国内直営店10店舗達成
- 12月 国内直営店20店舗達成
- 2015** 3月 株式会社ファイナル・スリー・フィートが、株式会社コロワイドより株式会社四天王の全株式を取得し子会社化
- 5月 商号を株式会社ギフトに変更
初の海外法人をシンガポールに設立
- 11月 国内直営店30店舗達成
- 2016** 3月 米国に子会社設立 (GIFT USA INC. / GIFT LOS ANGELES, LLC / GIFT NEW YORK, LLC)
- 7月 海外直営1号店 (シンガポール) オープン
- 12月 国内直営店40店舗達成、米国初出店 (LA)
- 2017** 5月 経営の効率化、経営意思決定の迅速化等を目的に株式会社ファイナル・スリー・フィートを吸収合併
- 8月 経営の効率化、経営意思決定の迅速化等を目的に株式四天王を吸収合併
- 12月 国内直営店50店舗達成
- 2018** 2月 米国にGIFT NEW YORK No.2, LLCを設立
- 5月 米国にGIFT DENVER LLCを設立
- 10月 東京証券取引所マザーズに株式を上場
- 2019** 8月 株式会社ラーメン天華及び株式会社ケイアイケイフーズ(現株式会社ギフトフードマテリアル)の全株式を取得し子会社化
- 2020** 9月 東京証券取引所市場第一部への上場市場変更
- 2021** 8月 持株会社体制へ移行
- 2022** 3月 商号を株式会社ギフトホールディングスに変更



将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。